

「高低差」地形ウォーク第12回

環濠集落 小浜宿

と手塚治虫の 蝶の道

2023年11月9日(木)

<参加メンバー> 7人(男性4人、女性3人)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

清荒神駅 10:30～(有馬街道)～いわし坂～11:00 国府橋(小浜宿北門跡)～11:15 小浜宿資料館～12:00 毫撰寺～愛宕宮(東門跡)～12:25 南門跡(坂)～12:40 西側段丘崖、亀の湧き水、公園(昼食) 13:20～(武庫川左岸の道)～宝塚村南～蓬萊橋～14:25 宝塚温泉碑～14:50 間欠泉～15:10 手塚治虫生家跡～蝶の道(階段)～15:40 千吉稲荷神社(猫神社)～16:20 宝塚駅

行動時間 約6H 10Km

<山行の概要>

この企画の始まりは伊丹台地北東部の猪名川河岸段丘にある加茂遺蹟からだったが、今回は台地西北部の武庫川の段丘にある小浜宿から。小浜宿は戦国時代に成立した環濠集落であり、周囲を自然の崖と川を利用し外敵の侵入を防ぐ地形で、江戸時代は交通の要衝で宿場町として栄えた。旅籠や酒蔵が残る往時の雰囲気味わったあと西側の崖下の亀の湧き水辺りで昼食。あと武庫川左岸の道を辿り宝塚温泉の源泉や間欠泉を探し、最後に手塚治虫が少年時代に蝶を追いかけて、昆虫を採集した森や神社を訪ねた。知的好奇心を満たしてくれた面白いウォークとなった。

(Gi)



スタートは清荒神駅



その前にリーダーからコースや地形の説明



有馬街道、小浜宿の標識あり



一旦坂を下り川を渡り、また坂を上る



北門跡(愛宕宮)へ出る



もと旅籠?メインストリートが続く



旅籠の灯明



小浜宿のメイン通りを歩く



小浜宿資料館



館長から丁寧な説明を受ける



ビデオでも説明あり



小浜宿全景のジオラマ



展示室



古くからの井戸、当時の石組みが残る



井戸の深さは 8m、水は酒造りに使われた



毫摂寺、小浜宿の中心



造り酒屋、杉玉が残っている



高札場



東門(愛宕宮)



南門跡



南門跡(愛宕宮)



首地藏



西側の大堀川、崖の下を流れる



崖の下には湧き水あり



ポタポタとしみ出している



昼食



地図とコンパスで確認中



ポタポタとしみ出している



武庫川へ出る



武庫川左岸を北上



宝塚ホテル裏を通る



宝塚温泉泉の碑



結構疲れたね！ りんごで癒す



間欠泉、いまま噴出している



間欠泉は矢印のあたり、マンションの下



手塚治虫生家跡、大きなクスノキが目印



いまは瀟洒な塀が続く豪邸



蝶の道、ここは蝶の群れのいつもの通路



三吉稲荷神社への道



三吉稲荷神社の鳥居が続く



本殿前で奉納の舞？

